

＜第1回 若林地域会議 会議録＞

日 時 令和7年4月25日（金） 19:00～20:30
場 所 若林交流館 多目的ホール
出席者 委 員 14名
事 務 局 吉澤支所長、中野副支所長、松原副主幹、倉地主査
オブザーバー 村中館長

1 会長あいさつ及び事務局紹介〈省略〉

2 オブザーバー紹介〈省略〉

3 若林地域会議の予定〈省略〉

4 報告事項

- （1）令和6年度 第10回 若林地域会議会議録について
高岡支所より報告

・青パトの放送について、令和8年度に予算化し支援していくこと。

- （2）若林防災マップの完成版について
高岡支所より報告

・若林自治区の防災訓練で出た意見を基に作成したこと。

〈委員〉特徴として、コンビニや空き地等の災害時に有効活用できる地域資源を落とし込んでいる。防災について話し合いをするときに使ってほしい。希望があった小中学校、こども園等の公共施設にも掲示をする。

- （3）高岡4地域防災力向上事業 防災バスツアーについて
高岡支所より報告

・7月26日（土）13時から16時までのバスツアーを開催。
・募集方法は小学校での配布、自治区回覧を考えている。

- （4）高岡コミセンまつり「春のこども祭り」へのブース出展について

・5月に自治区回覧でチラシを配布予定。
・防災はトイレカーの展示、交通安全は愛知県警のあゆみ号、地域の企業との共働での出展をする。

5 協議事項

- （1）若林まちづくりビジョンの検討に向けた準備
高岡支所より説明

・豊田市第9次総合計画のコンセプト動画の視聴。
・「若林まちづくりビジョン」を来年度の提言書として活用する。

・今回は評価方法をどうするかを検討する。

〈委員〉どの部分を評価するという話なのかよくわからない。

〈事務局〉時代、環境の変化に伴う文言の修正が必要な箇所もあると思うが、今回は 16～23 ページの課題や取り組みについて評価してほしい。

〈委員〉カレンダーやマップを作成したが、それが地域の課題解決につながったかという視点で議論するとよいのではないか。

〈委員〉実施した事業について、課題を解決するために足りない部分を話し合えばよいのか。

〈委員〉現状のビジョンは数年かけてやっていくべきことが記載されているので、現状ある程度やれているのか、全くの手つかずなのか、そういった視点で議論してほしい。ウォーキングや犬の見守りは実数がつかめないもので、評価しづらいと思う。なので評価しづらい部分はしない、評価しやすい部分を評価するという形が良いと思う。

〈委員〉やっていることに対する評価方法を考えるのか、評価するための指標を考えるのかどちらか。指標がないと評価はできないのではないか。

〈委員〉前者である。地域の活動は全て指標をもって判断できるものではなく、ある程度グレーなものもあると思う。

〈事務局〉例えば防犯について、防犯マップの作成や防犯灯・防犯カメラの設置とあるが、それが実施しているのか、未実施なのかという評価の仕方かなと思っている。指標がないためどのように評価するかを検討したい。そのうえで、早急に解決すべき課題やそうでない課題を見極めて提言書という形までもっていきたい。

〈委員〉令和 2 年に作成したとき、例えば危険箇所がいくつあるといったデータはないのか。それがないと評価のしようがないのではないか。

〈事務局〉そういった評価指標がないので、今回協議して評価方法を決めてもらおうと思っている。

○意見

A

〈防犯〉

- ・防犯件数や傾向は変化するため、危険箇所をカウントすることが大事。
- ・回覧板をまわすときに声掛けをするなどしてつながりを作る。
- ・不審者情報のデータ活用。
- ・子ども 110 番の件数を増やす。(経年比較)
- ・特殊詐欺対策が必要。(高齢者)
- ・青パトが役に立っている。

〈地域の人材〉

- ・協力してくれる人を見つけるのは難しい。スキルを持っている人は多いが、協力したくない人も多い。
- ・「つながりを持ちたくない」という人が増えるが、自治区等の運営を維持するための仕組みづくりが必要。

B

- ・具体的な手法を挙げ、それについて○△×をつける。
- ・「できた」or「できていない」をつけられるように表現する。

C

- (1) 各課題の具体的な取組例に対して、どういう指標で評価するか1つずつ決める。
- (2) できる限り数値指標を検討する。
- (3) 具体的な取組例に不足があれば追加して指標を考える。
- (4) 全体で50項目くらいあるため、ポイント又はテーマごとに担当グループを決めて並行して進める。

D

- ・全ての項目について独自の評価方法を考える。例えば防犯灯・防犯カメラは設置数。防災訓練はやった成果等。作業量は膨大なので分担して取り組む。

E

- ・各課題に対して、R2年度の現状・R7年度の現状を把握し、比較することで新たな問題点を可視化できるのではないか。
- ・地域のムードなどは人によって感じ方が異なるため指標が評価しづらい。

F

- ・各項目の現状を知りたい。(関係各所をお願いしていること等)
- ・今後どうしていくか。(重要性が高く、具体的に活動する必要があるのか。)

6 その他

- (1) 費用弁償の支払いについて
高岡支所より報告
 - ・令和7年4月30日(水)に支払い。
- (2) 令和7年度わくわく事業補助金交付団体について
高岡支所より報告
 - ・令和7年度に高岡支所管内で活動するわくわく団体について。

★次回開催

第2回定例会：令和7年5月23日(金) 午後7時から 場所：若林交流館多目的ホール